

# 新型コロナがもたらす 個人と社会のリスク

山本祥司

(第一生命経済研究所嘱託(非常勤))

1

## 【目次】

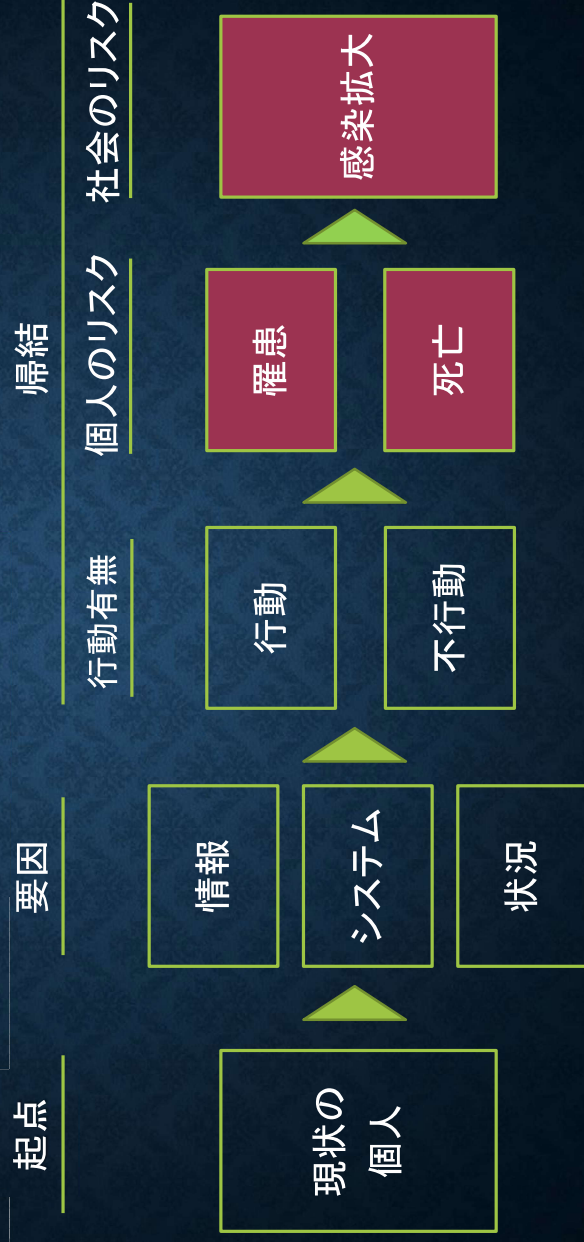
1. コロナ関連リスクの捉え方の枠組み
2. 「個人と社会のリスク」に関する報告の視点
  - 2-1 行動自粛による長期的な健康被害
  - 2-2 子ども・学生の能力・人格形成
  - 2-3 誹謗・偏見の問題
3. まとめ

2

# 1. コロナ関連リスクの捉え方の枠組み

## (1) 個人の身体・生命へのリスク

- 新型コロナウイルスの基本的なリスクはこれ



3

# 1. コロナ関連リスクの捉え方の枠組み

## (2) ビジネス・経済のリスク

- 感染拡大の抑止との対比で語られるリスク



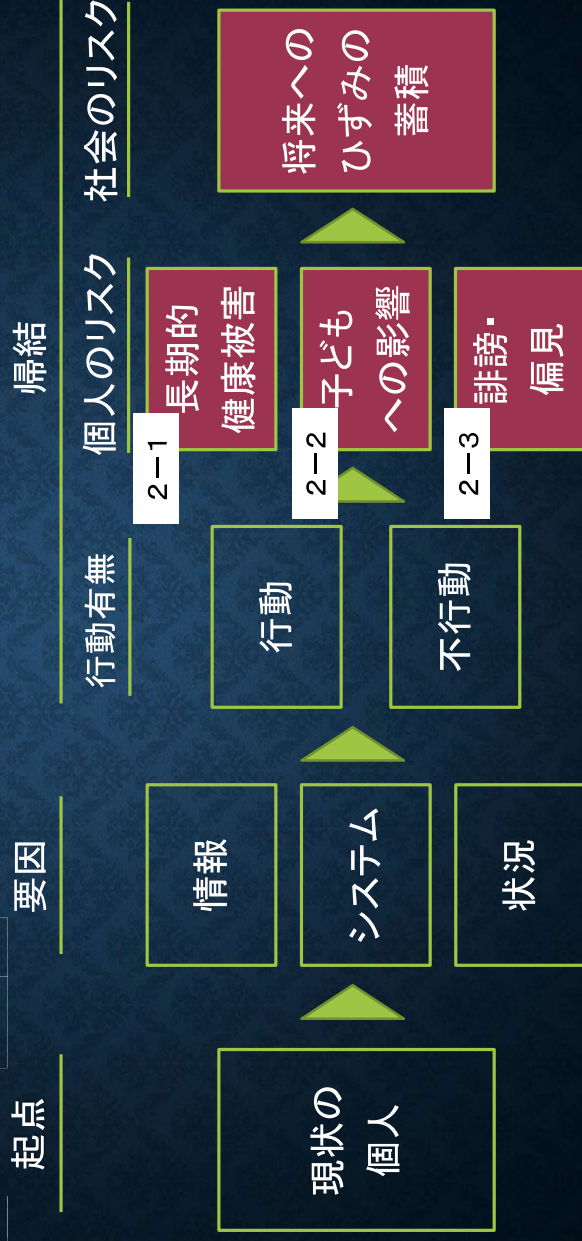
4



# 1. コロナ関連リスクの捉え方の枠組み

## (3)個人と社会のリスク

- 本日の報告はこの領域にかかわるリスク

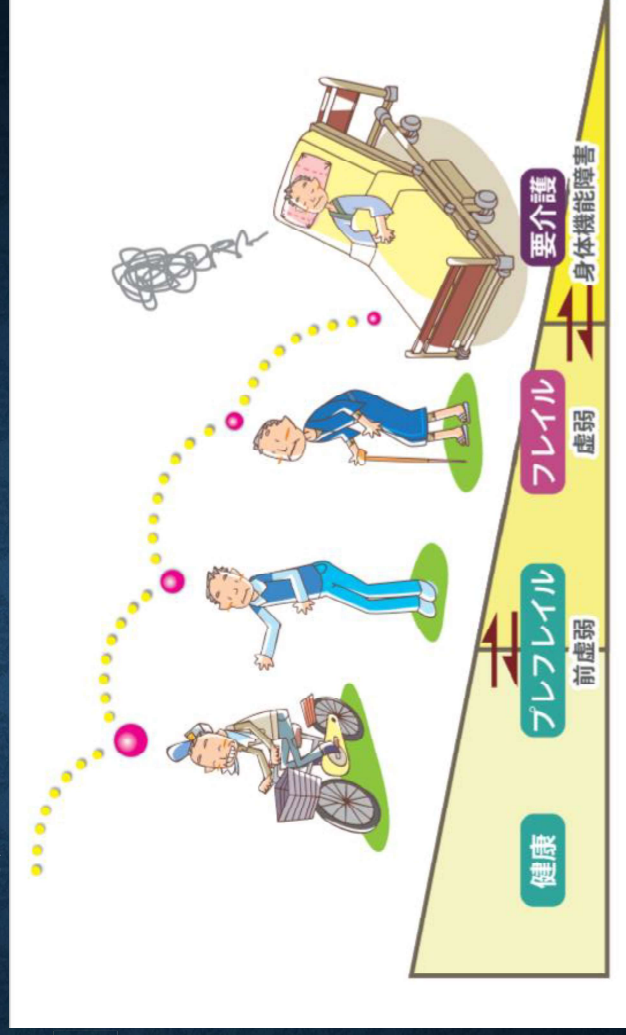


5

## 2-1 行動自粛による長期的な健康被害(フレイル・介護)

### (1)フレイルになれば介護リスクが高まる

資料 フレイルのイメージ図



(出所) 東京大学高齢社会総合研究機構「シニアのためのための時間を楽しむ健康にすぎず知恵「おうちえ」」2020.5。

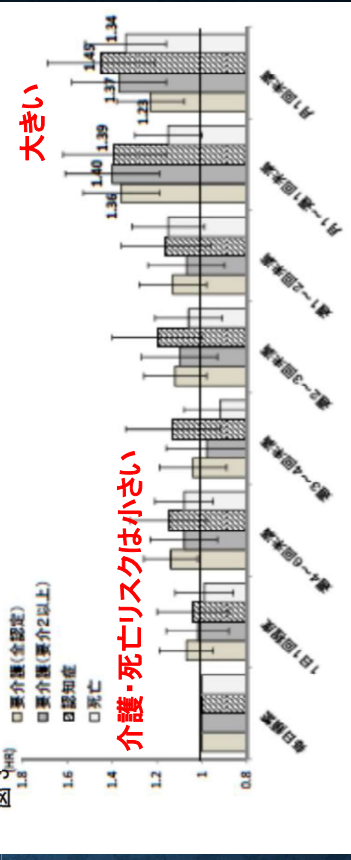
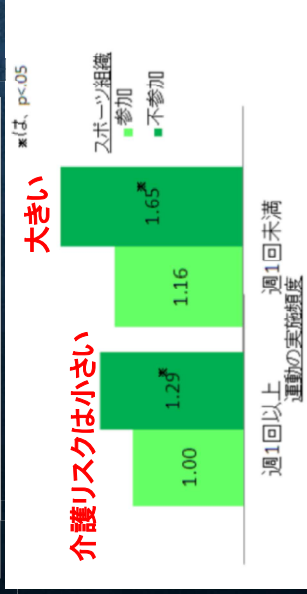
6

## 2-1 行動自粛による長期的な健康被害（フレイル・介護）

### (2) 運動・他者との交流が介護リスクを減らすことは実証済み

- 運動実施頻度が多いと介護リスクは減少
- 他者交流頻度が多いと介護リスクは減少

資料 運動実施頻度と介護リスクの関係



多い 頻度 少ない

多い 頻度 少ない

(出所) いずれも木村美也子、尾島俊之、近藤克則「新型コロナウイルス感染症流行下での高齢者の生活への示唆」JAGES研究レビュー「2020.4」。

(注) いずれも、性別、年齢、学歴、婚姻状態、所得、健康状態等、他のリスク要因を調整した結果。

7

## 2-1 行動自粛による長期的な健康被害（フレイル・介護）

### (3) コロナによる行動自粛意向は現在もそれなりの水準を維持

- 7割以上の人が不要不急の外出を減らす意向
- 「あてはまる」人はまだ3割いる

資料 質問「不要不急の外出を減らすようにしていますか」への回答割合



(出所) インターネット「デイリー調査」「ウィークリー調査」。

(注) 6月28日までは日次調査の週平均、7月6日以降は週次調査の週末値。

8

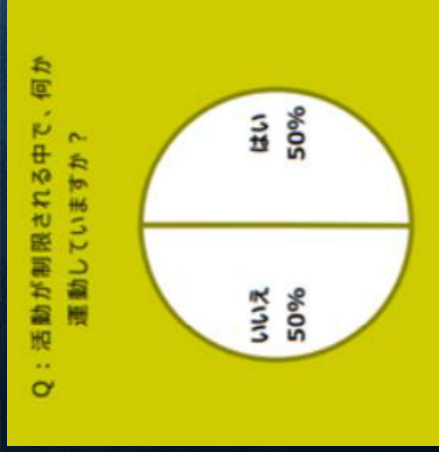


## 2-1 行動自粛による長期的な健康被害（フレイル・介護）

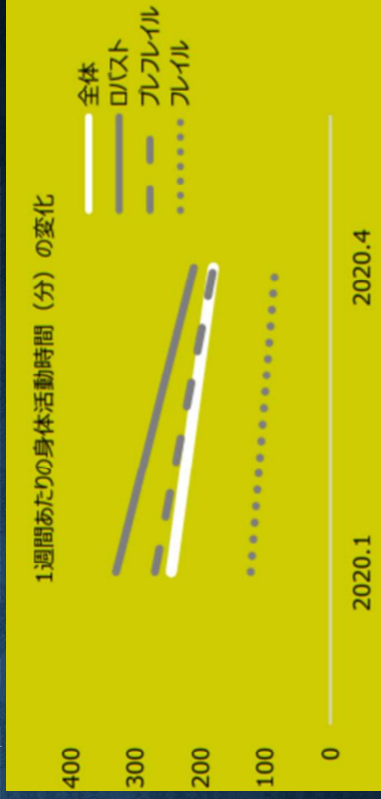
### （4）運動する高齢者の割合とその運動量は減少

- 新型コロナウイルスにより、高齢者の半数は運動しなくなった
- 運動時間は、コロナ前に比べ、身体状況にかかわらず3割（60分）減

資料 2020年4月の高齢者運動割合



資料 2020年1月から4月の高齢者活動時間の変化



（出所）国立長寿医療研究センター「感染予防と身体活動」。

（注）65～84歳男女1,600名へのアンケート結果。ロバストとは健康者のこと。

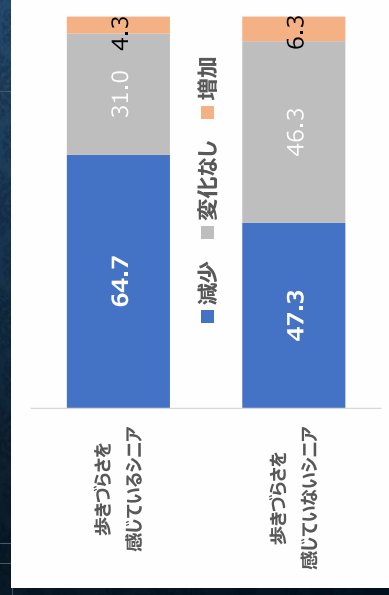
9

## 2-1 行動自粛による長期的な健康被害（フレイル・介護）

### （5）ハンディキャップのある人は負の影響をより多く受ける

- 歩きづらさを感じているシニアは、そうでないシニアより外出頻度が大きく減少
- 社会との関わり頻度も大きく減少

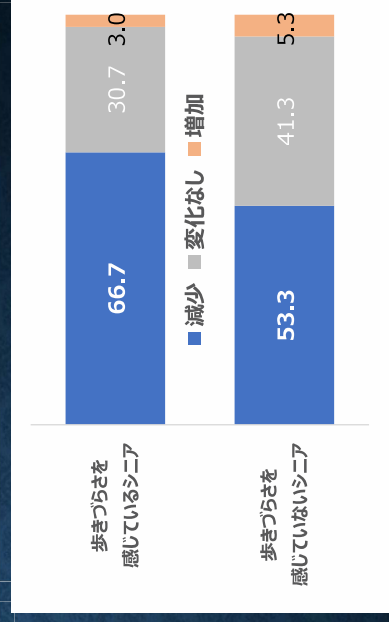
資料 外出頻度の増減（歩きづらさ有無別）



（出所）WHILL「シニア世代におけるコロナ禍の外出・社会参加影響調査」。

（注）65歳以上男女600名へのアンケート結果（2020年8月実施）、1年前との比較。

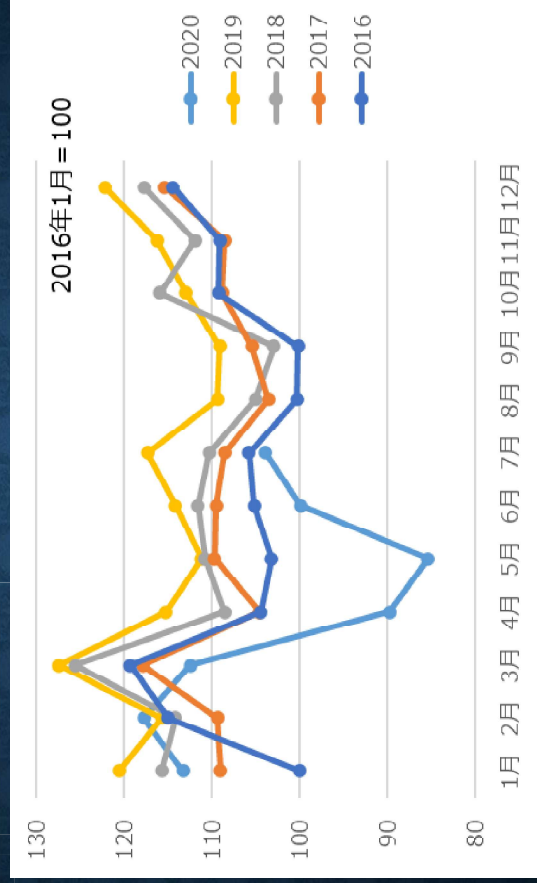
資料 社会との関わり頻度の増減（歩きづらさ有無別）



10

## 2-1 行動自粛による長期的な健康被害（がん等重篤化） （6）コロナ後の受診は大幅減（5月が底）

資料 レセプト件数の推移



（出所）社会保険診療報酬支払基金「統計月報」より作成。

（注）医療保険のみ（協会けんぽ、船員保険、共済組合、健保組合）。

11

## 2-1 行動自粛による長期的な健康被害（がん等重篤化） （7）特に被扶養者の受診減少幅が大きい



（出所）社会保険診療報酬支払基金「統計月報」より作成。

（注）2019年5月と2020年5月の比較。

12

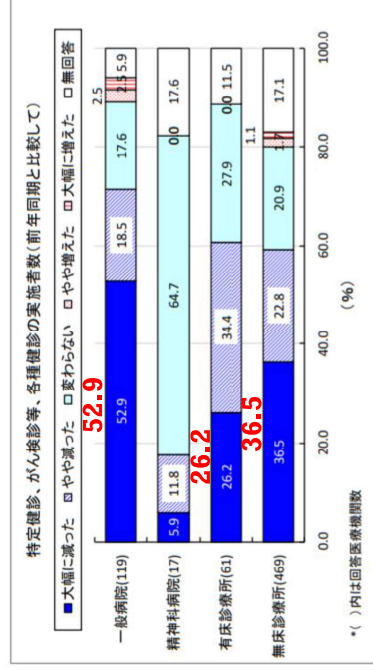


## 2-1 行動自粛による長期的な健康被害（がん等重篤化）

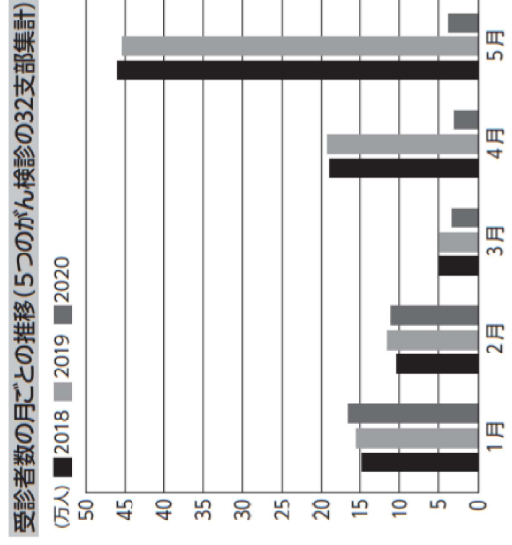
### （8）がん検診等の各種健診も大幅に減少

特定健診、がん検診等、各種健診の実施者数

一般病院の約7割、診療所の約6割で各種健診の実施者数が減少している。



➡ 健康への悪影響が懸念される。受診勧奨が必要。



（出所）日本対がん協会「対がん協会報 第690号」2020.7.1。

（出所）日本医師会「新型コロナウイルス感染症対応下での医療経営の状況」2020.7.22。

## 2-2 子ども・学生の能力・人格形成（子ども）

### （1）コロナによる小中高の休業状況

資料 4月22日現在休業を実施している学校の割合（全国）

	公立	国立	私立	合計
幼稚園	73%	94%	74%	74%
小学校	95%	99%	98%	95%
中学校	95%	99%	99%	95%
義務教育学校	95%	100%	100%	95%
高等学校	97%	100%	98%	97%
中等教育学校	100%	100%	100%	100%
特別支援学校	96%	98%	79%	96%
専修学校高等課程	100%	100%	93%	93%
計	93%	98%	82%	91%

（出所）文部科学省「新型コロナウイルス感染症対策のための学校における臨時休業の実施状況について」2020.4.24。

## 2-2 子ども・学生の能力・人格形成(子ども)

### (2)小中高の再開状況

資料 6月1日現在再開している学校の割合(全国)

	公立	国立	私立	合計
幼稚園	98%	98%	98%	98%
小学校	99%	97%	91%	99%
中学校	99%	94%	92%	99%
義務教育学校	97%	100%	100%	97%
高等学校	100%	80%	94%	96%
中等教育学校	100%	75%	89%	91%
特別支援学校	98%	93%	90%	96%
専修学校高等課程	100%	100%	96%	96%
計	99%	95%	96%	98%

(出所)文部科学省「新型コロナウイルス感染症に関する学校の再開状況について」2020.6.3。

## 2-2 子ども・学生の能力・人格形成(子ども)

### (3)小中高の休業日数

資料 4月1日以降の臨時休業の実施日数

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校	設置者単位
臨時休業未実施	18 1%	18 1%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	-
1~10日	207 12%	210 12%	8 9%	12 8%	0 0%	13 12%	-
11~20日	342 20%	346 20%	16 18%	19 12%	1 5%	4 4%	-
21~30日	531 31%	536 32%	29 33%	54 35%	9 45%	28 25%	-
31~40日	604 35%	601 34%	33 38%	68 44%	10 50%	60 55%	-
41~50日	24 1%	24 1%	1 1%	1 1%	0 0%	4 4%	-
51~60日	4 0%	5 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 1%	-
61日以上	3 0%	3 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	-
計	1,715 99%	1,745 99%	87 100%	154 100%	20 100%	110 100%	1,794 99%

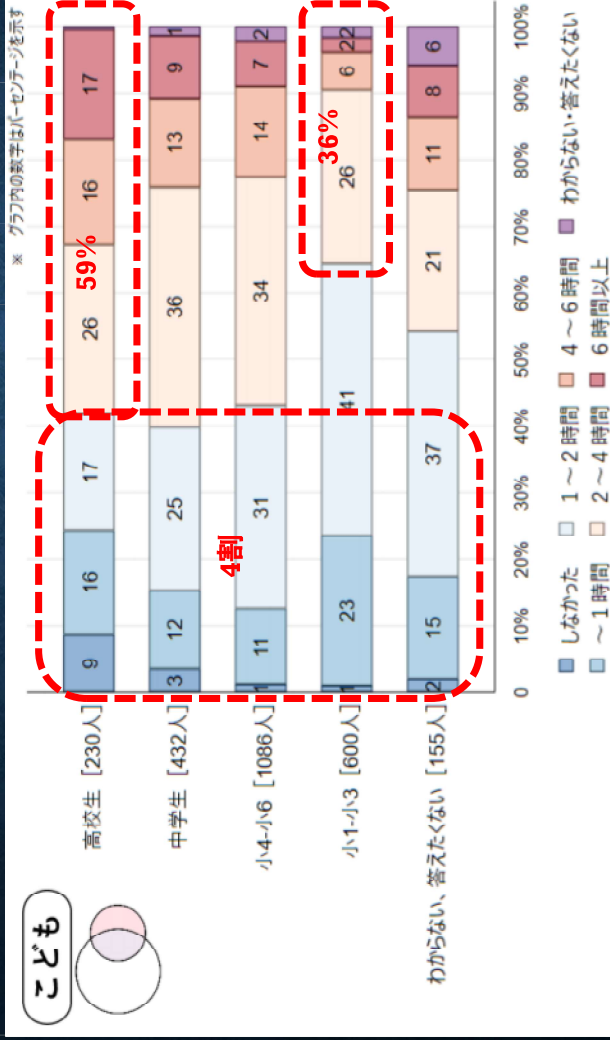
(出所)文部科学省「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた公立学校における学習指導等に関する状況について」2020.7.17。



## 2-2 子ども・学生の能力・人格形成(子ども)

### (4) 子どもの勉強時間への影響

資料 質問「1日のうちどれくらいおうちで勉強をしていますか」への回答状況

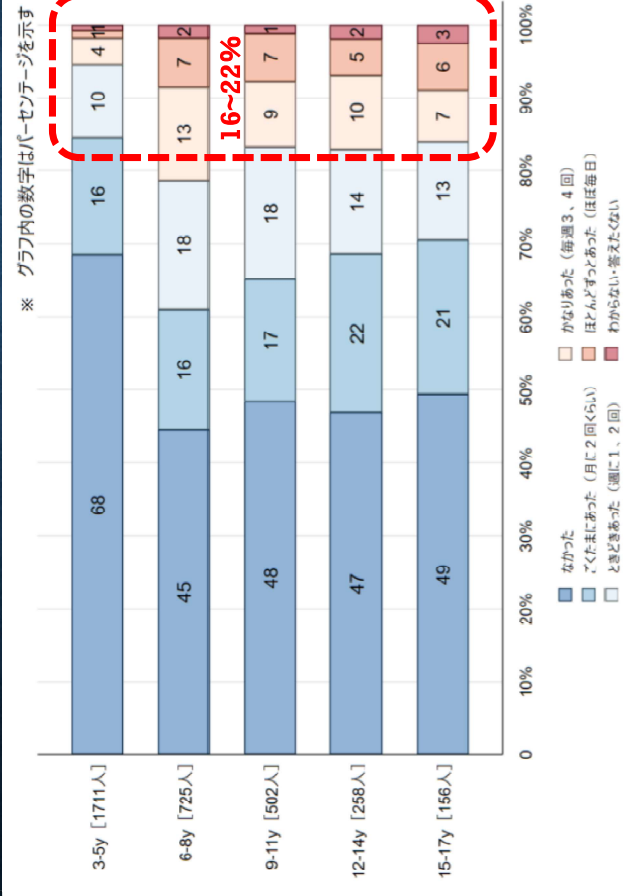


(出所) 国立成育医療研究センター「コロナ×子どもアンケート 第1回調査報告書」2020.6.22。

## 2-2 子ども・学生の能力・人格形成(子ども)

### (5) 子どもの集中力等への影響

資料 質問「以前に比べて、集中したり、注意を向けたりすることができない」への回答状況



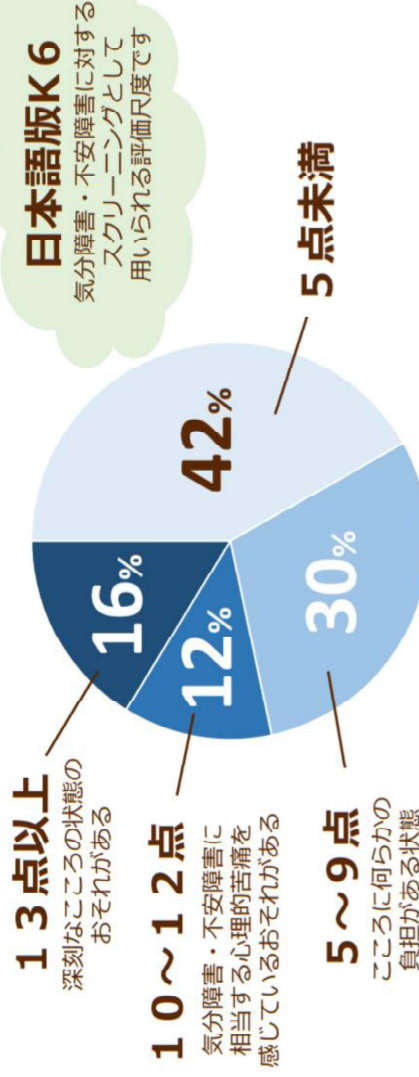
(出所) 国立成育医療研究センター「コロナ×子どもアンケート 第2回調査報告書」2020.8.17。

## 2-2 子ども・学生の能力・人格形成(子ども)

### (6)保護者のメンタルにも大きな影響

## 8. 保護者の心の様子

小学生～高校生の保護者  
1641名の回答



▶POINT 心に何らかの負担を抱えている保護者は半数以上でした

(出所)国立成育医療研究センター「教育機関向け資料 こどもたちのためにできること」2020.9。

## 2-2 子ども・学生の能力・人格形成(学生)

### (7)大学等の授業開始の遅れ

資料 大学の授業開始の対応状況(4月23日時点)

	授業の開始時期を延期	例年通りの時期で実施	
		遠隔授業を実施・検討	その他感染予防に配慮
国立大学	69 校 (92.0%)	6 校 (8.0%)	0 校
公立大学	60 校 (83.3%)	12 校 (16.7%)	0 校
私立大学	533 校 (88.7%)	64 校 (10.6%)	4 校 (0.7%)
高等専門学校	51 校 (91.1%)	5 校 (8.9%)	0 校
(全体)	713 校 (88.7%)	87 校 (10.8%)	4 校 (0.5%)

(※) 表中の割合は、回答があった全国の学校数を母数として集計している。

設置種別の割合は各設置種別の回答校数を母数としている。

回答率は、全体の約 68.1%である(全 1180 校中 804 校から回答)。

「授業の開始時期を延期」には、時期を延期した上で遠隔授業を実施する学校を含む。

公立大学・私立大学には、それぞれ短期大学を含む(以下同じ)。

(出所)文部科学省「新型コロナウイルス感染症対策に関する大学等の対応状況について」2020.4.24。



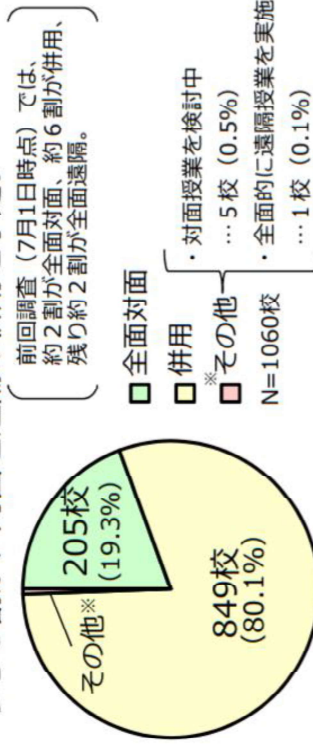
## 2-2 子ども・学生の能力・人格形成(学生)

### (8)大学の後期授業での対面・遠隔の実施方針

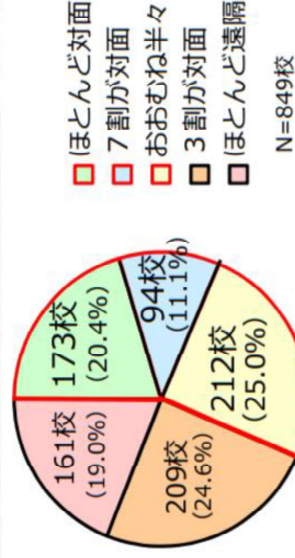
資料 後期授業の方針

資料 対面・遠隔の併用割合(後期授業)

○後期授業では、**ほぼ全ての大学が対面授業を実施。**  
うち8割が、対面と遠隔の併用を予定。



○対面・遠隔を併用する大学のうち、**約6割が、おおむね半分以上で対面授業を実施する予定。**



(出所)文部科学省「大学等における後期等の授業の実施方針等に関する調査」2020.9.15。

21

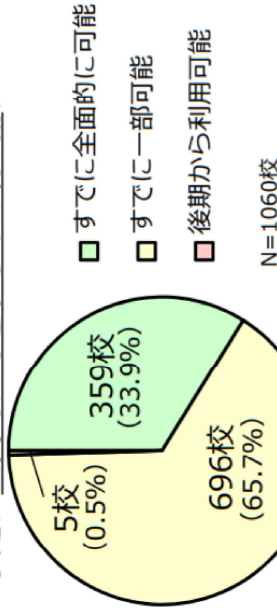
## 2-2 子ども・学生の能力・人格形成(学生)

### (9)大学の後期授業での学生の学びやすさ

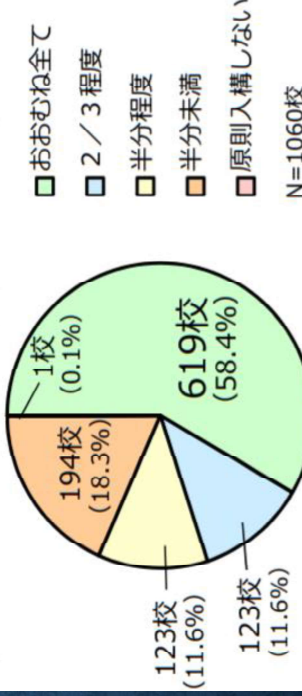
資料 施設の利用可否の状況

資料 週に2日以上キャンパスに通える学生の割合

○後期から、**全ての大学で施設利用が可能**となる予定。**全面的に可とするのは約3割。**



○**約6割の大学が、後期において、おおむね全員の学生が週に2日以上通学できると回答。**



(出所)文部科学省「大学等における後期等の授業の実施方針等に関する調査」2020.9.15。

22

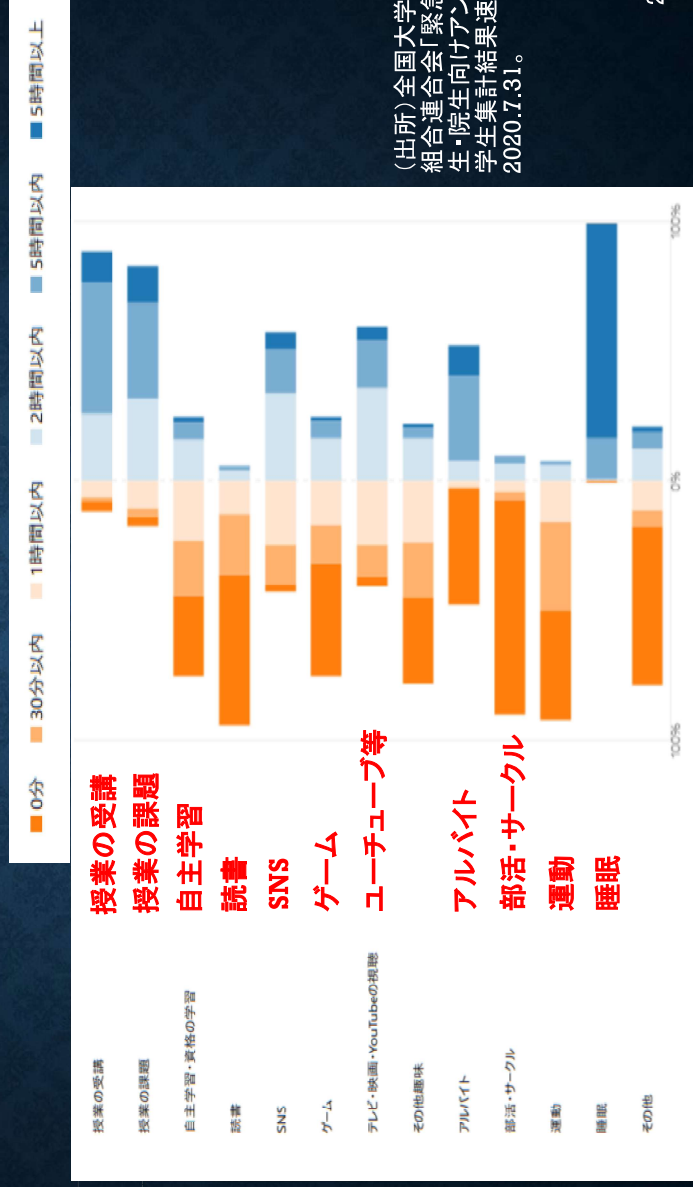
## 2-2 子ども・学生の能力・人格形成(学生)

### (10)コロナ下の学生の時間の使い方

#### 資料

#### 一日の時間

#### の使い方



23

## 2-2 子ども・学生の能力・人格形成(学生)

### (11)学生のアルバイトへの影響

#### 資料 現在のアルバイトの状況(7月下旬時点、複数回答)



(出所) 全国大学生生活協同組合連合会「緊急！大学生・院生向けアンケート 大学生集計結果速報」2020.7.31。

(出所) 全国大学生生活協同組合連合会「大学生・院生向けアンケート 学部生の声(ダイジェスト)」2020.8.11。

**アルバイトは、働かないと生活できません。**

なかなかバイトに入れないので貯めていたお金が一気に減っていく。

感染リスクを考えると働くのが怖いが、働かないと収入がない。

バイトを3つ掛け持ちしていたが、廃業・休業した。同じだけ稼ぐためには夜の街でしか働けない。

**どうも学生を救う気はないのだな、**

母子家庭ですが、大学をやめる話が毎日親からされて辛いです。

給付金の多くは下宿が前提で、実家に居ながらも苦しい自分は無視……

リスクを冒している学生は「収入が激減していない」から支援対象外。最近特に非平等すぎてイライラする。

24



## 2-3 誹謗・偏見の問題

### (1) 医療職関連

資料 質問「「コロナ」に関連する病院職員への差別的対応やハラスメントがありますか(病院外)」への回答

#### <第3次>

	回答数	%
①ない	64	53.3%
②ある	25	20.8%
無回答	31	25.8%
合計	120	100.0%

#### <第2次>

	回答数	%
①ある	15	9.9
②ない	62	40.8
無回答	75	49.3

(出所)日本医療労働組合連合会「新型コロナウイルス感染症」に関する緊急実態調査(医療)」、2020年9月1日。

(注)第2次とは4月中旬に行われた同種調査、第3次は9月実施の調査を指す。

25

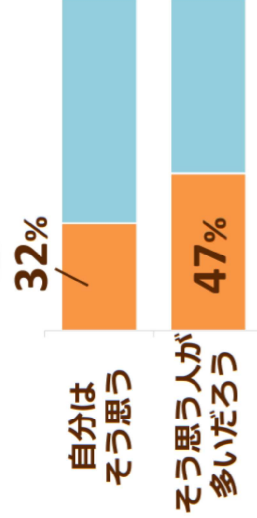
## 2-3 誹謗・偏見の問題

### (2) 子ども関連

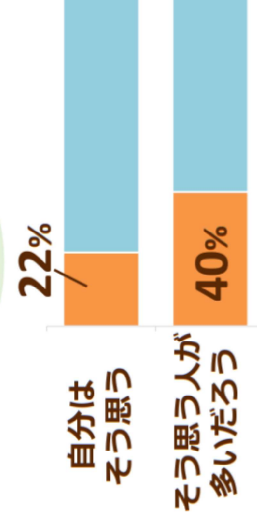
## 4. コロナに関する意識

こども  
912名の回答

自分や家族がコロナになったら  
そのことを秘密にしたい



コロナになった人とは  
治っても付き合うのをためらう



(出所)国立成育医療研究センター「教育機関向け資料 こどもたちのためにできること」、2020.9。

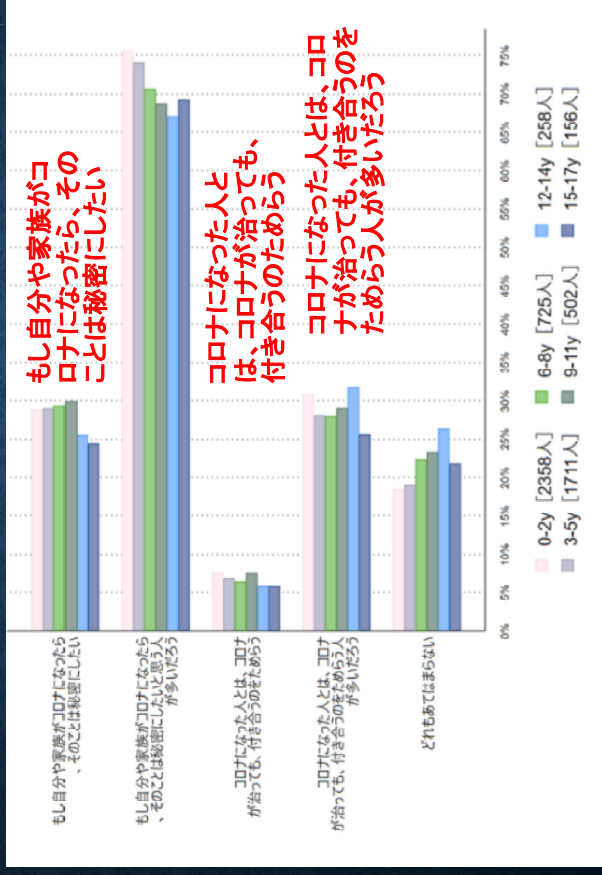
▶TIPS コロナに対する自分と周囲の意識を話し合ってみませんか

26

## 2-3 誹謗・偏見の問題

### (3) 子ども関連（保護者）

資料 質問「あなたの考えにあってはまるものをすべて選んでください」への回答状況。



もし自分や家族がコロナになったら、そのことは秘密にしたいと思う人が多いだろう

コロナになったら、コロナが治っても、付き合うのをためらう

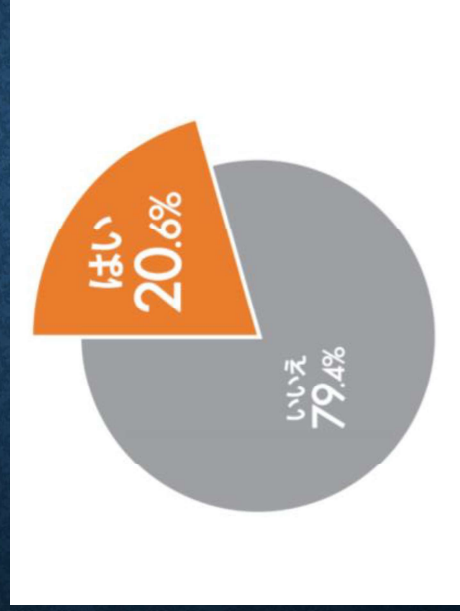
コロナになったら、コロナが治っても、付き合うのをためらう人が多いだろう

(出所) 国立成育医療研究センター「コロナ×子どもアンケート第2回調査報告書」、2020.8.18。  
(注) 子どもの年齢別の回答。

## 2-3 誹謗・偏見の問題

### (4) 帰省関連

資料 質問「帰省したことで誹謗中傷の被害にあいましたか？」への回答状況。



(出所) ゼネラルリサーチ「帰省と新型コロナウイルスにまつわる誹謗中傷被害」に関する意識調査」、2020.8.27。



## 2-3 誹謗・偏見の問題

### (5) 患者関連

#### 1. 偏見・差別の実態について～全国の事例～

##### 《島根県の事例》

島根県内の私立高校で8月9日以降、サッカー部員ら約100人が感染するクラスターが発生。

##### 発生した主な誹謗・中傷

- ・高校に対して、学校の批判に加え、生徒を中傷するような電話が殺到
- ・学校公式ブログの活動紹介の生徒写真がインターネット、SNS上に流出し、「マスクも着けずにコロナをばらまいている」との批判とともに、その写真をネット上で拡散

##### 対応

- ・島根県は8月21日、写真が転載された十数件のサイトについてモニタリング作業によって確認の上、「人権侵害の恐れがある」として松江地方裁判所に通報し、削除要請を依頼
- ・学校は、生徒の心身の不調を懸念し島根県臨床心理士・公認心理師協会に協力を依頼

##### 《岩手県の事例》

全国で唯一「感染者ゼロ」だった岩手県で、7月29日に初めて感染者が確認され、感染した男性が勤める県内の企業は同日夜、ホームページで従業員の匿名性を発表。

##### 発生した主な誹謗・中傷

- ・勤務先に対して、3日間で100件以上の誹謗・中傷を含む問い合わせの電話や、誹謗中傷のメールが多数寄せられ、感染を公表した翌日の30日、会社ホームページへアクセスが殺到しサーバーがダウン。

##### 対応

- ・知事から「感染者第1号になっても、県はその人のことを責めません」と繰り返し発言
- ・SNS等に発信した投稿に対する返信等において書き込まれた誹謗中傷について、岩手県が画像で写しを保存

(出所)内閣府「新型コロナウイルス感染症対策分科会偏見・差別とプライバシーに関するワーキンググループ第1回」2020.9.1。

(注)本ページの資料は、上記WGの資料9(三重県知事発表)の一部。

29

## 2-3 誹謗・偏見の問題

### (5) 患者関連(参考資料:WG設置の趣旨)

○ 現状、新型コロナウイルス感染症を巡って、以下のような課題が指摘されている。

- ・感染者、濃厚接触者、医療・介護従事者等、更にはその家族に対する偏見、差別や感染リスクが高いと考えられる業種や事業者への心ない攻撃などが問題となっている。これらについての実態把握や、これを踏まえた相談や啓発などが求められている。
- ・感染者等に関する情報が公開された結果、まん延防止に資する範囲を超えて、個人のプライバシーの侵害に当たるとある場合がある場合が生じているとの指摘がある。感染者や濃厚接触者が安心して積極的疫学調査に協力でき、自治体間の情報共有・連携も促進できるような、「信頼の連鎖」の構築が必要となっている。

○ 上記について検討するため、新型コロナウイルスエンザ等対策有識者会議新型コロナウイルス感染症対策分科会の下で、「偏見・差別とプライバシーに関するワーキンググループ」を開催する。

(出所)内閣府「新型コロナウイルス感染症対策分科会偏見・差別とプライバシーに関するワーキンググループ第1回」2020.9.1。

30

## 2 視点(参考)

➤ これまで挙げた3つ以外にも個人と社会のリスクは存在(順不同)

- ① 子を持つ母親の負担増(特に共働き女性)
- ② 教員の過重労働
- ③ 結婚できない若者(少子化の加速要因)
- ④ 自殺者の増加
- ⑤ 外国人就労や留学生における問題
- ⑥ 情報弱者

等々

31

## 3 まとめ

- 通常、論点となるのは、感染拡大抑止と経済活動との両立
- 本報告で取り上げたような「個人と社会のリスク」は、主要な論点とは認識されていない
- そういったリスクも、将来のひずみの蓄積につながるのではないか
- どのように捉えるべきなのか、認識も議論も進んでいないように思える



### 【リスクマネジメントの要諦】

- ◆ リスクを大所高所からとらえる
- ◆ いざというとき、どう対応するか考えておく

32